

## (様式 1-B)

死亡野鳥等調査個票<死亡個体発見～遺伝子検査（ウイルス分離検査）まで>				
発見	発見場所	都道府県	A県	
		市町村等	B村○○町△一△一△	
		緯度経度(十進法)	35.681382、139.766084	
		環境	河川・湖沼・海上・海岸・耕作地・森林・民家等建物の敷地・その他( )	
	発見日時	発見日	2008/1/30	
		発見時刻	11:00	
	発見鳥類	種類	オオハクチョウ	
		発見羽数	2	
		性別、年齢区分		
		状態 ※1	衰弱個体が死亡、損傷が激しい	
発見者	氏名	鳥山鶴夫		
	所属	鳥獣保護センター職員（巡視中）		
回収	回収場所	場所	○○ダム	
		管理者	○○ダム管理事務所	
	回収日時	回収日	2008/1/30	
		回収時刻	12:00	
	回収者	氏名	鳥山鶴夫	
		所属	鳥獣保護センター職員（巡視中：発見者に同じ）	
	接触者	氏名		
		連絡先		
	回収方法		ビニール袋で3重に密封（ビニール外側消毒済み）	
	収容先		家畜保健衛生所	
処分	方法	焼却		
	処分日			
	場所	家畜保健衛生所		
採材	検体番号		6002A001	
	採材羽数		回収○羽中、○羽	
	採材日※2			
	採取部位	C : クロアカ	1	
		T : 気管/咽喉頭	1	
簡易検査	実施者		家畜保健衛生所	
	検査日※4		2008/2/1	
	結果(C)	陰性・陽性	陰性	
	結果(T)	陰性・陽性	陰性	
A型遺伝子検査	実施者			
	検査日※4			
	結果	陰性・陽性		
HA亜型遺伝子検査	実施者			
	検査日※4			
	結果	H5,H7,その他		
病原性遺伝子検査	実施者			
	検査日※4			
	結果	高・低・その他		
野鳥監視重点区域	指定日			
	解除日			
備考※5	死体発見時 1m間隔で 2羽発見			

※1 鳥の状態は、衰弱/死亡の別、外傷、死亡野鳥の損傷、腐敗等の状態を記入する。

※2 採材日は検査試料（スワブ）の採取を実施した日であり、簡易検査を実施する場合は入力不要である。

※3 スワブ採取場所（クロアカ採取の場合：C欄に1、気管採取の場合：T欄に1、採取しなければ0）を記入する。

※4 検査日は、結果が確定した日。

※5 備考には、複数の鳥が死亡していた場合には、相互の距離や散乱状況を、また発見時点あるいはその前に特段の気象情報があれば記載する。

